



笛吹市

議会だより

平成23年1月21日発行

2011

Vol.25

GIKAI DAYORI



石和図書館「初釜」

石和図書館新春恒例の初釜が、今年は小中学生ボランティアにより、1月5日に行われました。来館者は抹茶と和菓子、琴の演奏などを楽しみました。





笛吹市

議会だより 2011 Vol.25

表紙 1

あんない・議会日誌・会期日程 2

議長・副議長就任あいさつ 3

常任委員会等構成 4

荻野市長・行政報告 5

12月定例議会で決まったこと 6~7

一般質問(9人) 8~13

 中川 秀哉議員 大久保俊雄議員 野澤今朝幸議員

 亀山 和子議員 渡辺 正秀議員 川村 恵子議員

 志村 直毅議員 中村 正彦議員 新田 治江議員

委員会レポート 13~14

議会だよりアンケート結果 15

市民リレートーク / 編集コラム・笛吹川 16

あんない CONTENTS



FUEFUKI CITY



議会日誌 GIKAI diary

9月 September

- 1日 春日居中学校柔剣道場起工式・工事安全祈願祭
- 3日 全員協議会・本会議
- 6日 本会議(代表質問) 消防操法大会激励式
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 峡東地域広域水道企業団議会
- 9日-10日 各常任委員会
- 14日-16日 各常任委員会(決算認定)
- 17日 金川の森清掃活動
- 22日 議会運営委員会・全員協議会・本会議
- 28日 石和第五保育所建設検討委員会

10月 October

- 7日 議会広報編集委員会
- 8日 東山梨環境衛生組合議会
- 12日 笛吹市市制施行6周年記念式典
埼玉県伊奈町議会常任委員会視察研修来庁
- 13日 釈迦堂遺跡博物館組合議会
- 14日 山梨県市議会議長会定期総会
- 15日 リニア対策・建設経済合同委員会視察
建設経済常任委員会
- 16日 JAふえふきまつり
- 18日 全員協議会
- 19日 笛吹市戦没者慰霊祭
- 20日 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会
- 25日 定例全員協議会・議会改革検討委員会
- 26日 東山梨行政事務組合議会
- 28日 「市民の声を届ける会」代表との打合せ会
- 29日 知事訪問、山梨県後期高齢者医療広域連合議会

11月 November

- 2日 峡東地域広域水道企業団議会視察研修
- 4日-5日 東山梨行政事務組合議会視察研修
- 5日 戦没者遺族大会
- 8日 「市民の声を届ける会」代表との話し合い
- 9日 笛吹こども議会
- 12日 全国市議会議長会第89回評議員会
- 14日 石和福祉健康まつり
- 16日 全員協議会・教育厚生常任委員会
峡東圏域リニア中央新幹線駅誘致推進協議会総会
- 19日 総務常任委員会、ものづくり企業意見交換会
- 20日 笛吹市文化祭開祭式
- 22日 議会運営委員会・全員協議会・第4回臨時会
- 25日 リニア水資源有効活用協議会視察研修会
- 26日 議会運営委員会、青木が原ごみ処理組合議会
- 28日 小中学生俳句会表彰式
- 30日 東山梨行政事務組合議会

12月議会・会期日程

- 12月3日(金) 全員協議会
- 12月6日(月) 本会議
- 12月9日(木) 議会録署名議員の指名
- 12月10日(金) 会期の決定
- 12月14日(火) 市長行政報告
- 12月14日(火) 提出議案の説明
- 12月14日(火) 総括質疑・付託
- 12月14日(火) 一般質問
- 12月14日(火) 各常任委員会
- 12月14日(火) 各常任委員会の審査報告
- 12月14日(火) 各委員会の審査報告
- 12月14日(火) 質疑・討論・採決
- 12月14日(火) 閉会

平成22年11月22日

第4回臨時議会で

議長に小林 始氏 副議長に渡辺清美氏が就任

議長就任あいさし

市議会のあるべき姿を模索



議長 小林 始

このたびの臨時議会において、市議会議長の職に就くこととなりました。まことに身に余る光栄であり、衷心から感謝・感激している次第です。私は自らの浅学非才を省みまして、責任の重さを一層痛感いたしております。

笛吹市が誕生して早や6年の歳月が流れました。今まで数多くの議会改革が推進され、市民協働の議会運営がなされてきました。昨今の厳しい経済状況を踏まえ、本市を含め多くの自治体も課題が山積しており、この課題を一つひとつ議会・行政・市民の三者が一体となり、解決策を探していく必要があると考えます。

副議長就任あいさし

市民の幸福のため全力を



副議長 渡辺清美

特に税収減により、これからの本市のあるべき姿を、議会と行政が先頭に立ち、市民に示すことが必要だと思えます。税収の増加は喫緊の課題であり、当然無駄をなくし、生かせる施設は十分生かした中で、本市の魅力を多くの方々に触れていただき、人口の増加、企業の誘致、「桃・ぶどう 日本一と温泉の郷」笛吹市のさらなる発展のため、二元代表制の一翼を担う議会がいかにあるべきかを、広く考えたいと思います。

本市の発展のため、誠心誠意努力いたします覚悟でございますので、今後とも、皆さま方の絶大なるご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

このたび、尊いご支援により、副議長の重任をいただき、身に余る光栄と心より感謝申し上げます。未熟の身ではありませんが、皆さまのご指導を仰ぎながら、この重責を全うするため、心を引きしめて、全力で努める覚悟です。

新地方自治法は、国と地方自治体の関係を、上下関係から対等の関係に位置づけております。自治体運営も、収支の均衡を図るだけでは住民福祉を実現することはできません。限られた予算を有効に活用し、住民の満足度を高めることが、もっとも重要ではないかと思えます。

地方分権改革の目的は、住民の皆さまの生活を豊かにすることです。笛吹市も様々なプランを掲げ、さらなる市の発展に向け前進してまいります。政治も経済も、すべては人間の現実の苦しみを減らし、幸福を増すためにあります。私たち議員は公僕であり、市民の皆様の幸福のためにすべてを捧げることが使命です。皆さまの希望の声、英知の声を胸に、全身全霊で、副議長としての責務を果たしていく決意です。市民の皆様のご指導を、よろしくお願い申し上げます。

各委員会・組合議会の 構成が決まりました

[平成22年11月22日～]

委員長 副委員長

総務常任委員会（8人）

前島 敏彦 中村 正彦
上野 稔 川村 恵子 小林 始
中村 善次 堀内 文藏 渡辺 正秀

教育厚生常任委員会（8人）

中川 秀哉 網倉 正治
大久保俊雄 亀山 和子 寶 修
新田 治江 野澤今朝幸 松澤 隆一

建設経済常任委員会（8人）

内藤 武寛 志村 直毅
風間 好美 北嶋 恒男 龍澤 敦
野沢 勝利 降矢 好文 渡辺 清美

議会運営委員会（10人）

大久保俊雄 川村 恵子
前島 敏彦 中川 秀哉 内藤 武寛
降矢 好文 風間 好美 亀山 和子
堀内 文藏 北嶋 恒男

議会広報編集委員会（6人）

寶 修 志村 直毅
川村 恵子 中村 正彦 野澤今朝幸
北嶋 恒男

リニア対策特別委員会（9人）

堀内 文藏 龍澤 敦
小林 始 中村 善次 大久保俊雄
寶 修 新田 治江 風間 好美
内藤 武寛

議会改革検討委員会（13人）

小林 始 渡辺 清美
前島 敏彦 中川 秀哉 内藤 武寛
大久保俊雄 龍澤 敦 中村 正彦
川村 恵子 風間 好美 渡辺 正秀
堀内 文藏 野澤今朝幸

東八代広域行政事務組合議会議員（7人）

小林 始 渡辺 清美 前島 敏彦
中川 秀哉 内藤 武寛 上野 稔
渡辺 正秀

東山梨行政事務組合議会議員（2人）

小林 始 前島 敏彦

東山梨環境衛生組合議会議員（2人）

渡辺 清美 網倉 正治

青木が原ごみ処理組合議会議員（4人）

小林 始 渡辺 清美 中川 秀哉
網倉 正治

峡東地域広域水道企業団議会議員（5人）

小林 始 渡辺 清美 内藤 武寛
志村 直毅 降矢 好文

釈迦堂遺跡博物館組合議会議員（6人）

小林 始 渡辺 清美 中川 秀哉
網倉 正治 亀山 和子 新田 治江

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員（4人）

小林 始 渡辺 清美 中川 秀哉
亀山 和子

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員（1人）

網倉 正治

監査委員（議員選出1人）

上野 稔



荻野市長の行政報告

緊急経済対策を盛り込んだ国の補正予算が成立
交付金など財源の積極的活用を図ります

大型施設整備の現況

石和温泉駅周辺整備事業

駅前広場、国道140号線ア
クセスの実施設設計策定と、用地・
補償調査を実施しており、JR
東日本や関係者等と協議を進め
事業推進してまいります。

バイオマスセンター建設事業

石和町砂原区と八代町増田
区に、事業概要の説明をいたしま
した。今後も協議を重ね、平成
26年度完成を目指して事業推進
してまいります。

砂原橋架け替え道路整備事業

石和町砂原区、八代町増田
区及び境川町大坪区において説明
会を実施しました。今後、国土
交通省と路線の詳細なルート協
議が整い次第、詳細設計・用地
測量業務に着手します。

多機能アリーナ建設事業

施設規模や内容、運営方法な
どの協議をいただき、多機能ア
リーナ建設委員会と併せて、成
田区等、関係行政区で説明会を
開催しました。建設予定地は、
地元関係者や委員会にもご了承
いただいております。基本設計業務
に着手し、市の「人・健康・交
流づくり」の拠点施設として、
早期実現に努力します。

ふるさと公園周辺整備事業

現在、実施設計・事業認定作
業を進めており、不動産鑑定や
用地補償調査後、早期公園整備
に取り組みます。

第一次笛吹市総合計画の主要事業

1 市制施行6周年記念式典

10月12日にスコレーセンタ
ーで開催しました。市と県立
博物館とで、相互発展と活性
化に資するため、学校教育・
生涯学習・文化観光振興など
多方面の連携を目的に協定を
結び、幅広い分野で連携を図
つてまいります。

2 市営バス運行事業

デマンドバスの実証運行を
御坂町若宮地区と石和温泉駅
間において、10月1日から開
始しました。また、富士急山
梨バスにより若彦トンネルか
ら芦川町を経由し、石和温泉
駅と富士吉田駅間をつなぐ新
たなバス路線が、12月から運
行開始されました。

3 観光振興

市の魅力を旅行エージェン
トにアピールするため、東京・
大阪・名古屋地区でトップセ
ールズを実施しました。今後
も継続的に市の魅力を発信し、
誘客の促進を図ります。

4 アクションプラン 策定業務

笛吹市観光ビジョンを基本

に、プランの原案を検討して
おり、市民ミーティング・パ
ブリックコメント等で意見を
いただき、年度内の完成を目
指します。

5 就職ガイダンス

求職者の就業促進と、求人
企業の人材確保支援のため、
市主催として、2回目の就職
ガイダンスを開催しました。

6 環境基本計画

環境の現状と課題、望まし
い将来像や目標など、各委員
からご意見を伺い、目指す環
境像や重点施策、環境パート
ナーシップ事業の行動計画を
示し、環境にやさしいまちづ
くりの基本計画を策定します。

7 障がい者福祉

障がい者の皆様の自立支援
を目的として、12月から身体
障がい者訪問入浴サービス事
業を開始しました。

8 介護保険

利用者がいったん、全額を
業者に支払うことによる資金
面の負担を軽減するため、住
宅改修や福祉用具の購入につ
いて、受領委任払い制度を平

成23年1月から実施します。

9 教育関連施設整備状況

一宮中学校改築耐震補強工
事の補正予算を本定例会に上
程、一宮学校給食センターは
平成23年の2学期から稼働の
予定です。太陽光発電システ
ム設置工事は市内18の小中学
校に施工中で、まもなく発電
可能になる状況です。

10 協働のまちづくり推進

新たな地域づくり支援事業
として、境川地区で地域づく
り座談会を開催しました。

11 笛吹子ども議会

私たちの夢と希望を運ぶま
ちをテーマに、市内6小中学
校から参加のもと開催しまし
た。いただいたご提案は今後
のまちづくりの参考といたし
ます。

12 住基カード普及促進

普及拡大事業などの取り組
みにより、11月末の交付率は
21・27%と県内第一位の普及
状況となっております。

12月定例議会における荻野
市長の行政報告を要約したも
のです。

平成22年12月定例議会提出案件一覧表

(小林始議長を除く)
賛成 反対

種別	案件名	笛政クラブ		正鶴会		公明党		正正会		日本共産党	新和会	市民派クラブ	無党派	結果									
		龍澤敦	上野稔	前島敏彦	大久保俊雄	網倉正治	志村直毅	降矢好文	小林始	松澤隆一	中村正彦	川村恵子	渡辺清美		中川秀哉	風間好美	中村善次	新田治江	渡辺正秀	亀山和子	堀内文蔵	内藤武寛	北嶋恒男
条例制定改正廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の自己啓発等休業に関する条例の制定 ・定住促進住宅条例の制定 ・乳幼児医療費助成金支給条例等の一部改正 ・簡易水道事業の設置等に関する条例及び簡易水道事業給水条例の一部改正 ・農業集落排水施設条例の一部改正 ・住民基本台帳カード利用条例等の一部改正 ・消防手数料条例の一部改正 ・父子家庭児童育成手当支給条例の廃止 														可決								
補正予算	・一般会計補正予算（第5号）														可決								
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算（第6号） ・国民健康保険特別会計補正予算（第4号） ・介護保険特別会計補正予算（第3号） ・介護サービス特別会計補正予算（第3号） 													可決									
	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）														可決								
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道特別会計補正予算（第3号） ・簡易水道特別会計補正予算（第3号） ・水道事業会計補正予算（第3号） ・市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第2号） 														可決								
その他	・市道廃止														可決								
	・市道認定														認定								
指定管理	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産の取得（八代雇用促進住宅） ・契約の変更（防災行政無線） 														可決								
	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の指定（クリーンセンター） ・指定管理者の指定（境川児童館） ・指定管理者の指定（八代御所保育所） ・指定管理者の指定（大坪ふれあいプラザ） ・指定管理者の指定（春日居しずめふれあいの家） ・指定管理者の指定（境川地域振興交流センター） ・指定管理者の指定（春日居産地形成促進施設） ・指定管理者の指定（一宮有線テレビ） ・指定管理者の指定（境川農産物加工センター） ・指定管理者の指定（芦川活性化交流施設） ・指定管理者の指定（石和小林公園・石和温泉駅前公園） ・指定管理者の指定（御坂花鳥の里スポーツ広場ほか関連3施設） 														可決								
人事	<ul style="list-style-type: none"> ・公平委員会委員の選任 ・名所山恩賜県有財産保護財産区管理委員会委員の選任 														同意								
請願審査	・教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書														採択								
意見書	・教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書														可決								

平成22年第4回臨時議会提出案件一覧表

(上野稔議長を除く)
賛成 反対

条例改正	<ul style="list-style-type: none"> ・市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正 ・教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正 ・職員給与条例等の一部改正 ・職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正 														可決
補正予算	・一般会計補正予算（第4号）														可決
人事	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員の任命 ・固定資産評価審査委員会委員の選任 														同意
	・監査委員の選任														同意
議員発議	・議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正														可決

平成22年第4回臨時議会提出案件一覧表(選挙・選任等)

種別	案件名	結果
辞職許可	<ul style="list-style-type: none"> 議長の辞職 副議長の辞職 リニア対策特別委員会委員の辞職 	許可
選挙	<ul style="list-style-type: none"> 議長の選挙 副議長の選挙 	選挙
議席変更	<ul style="list-style-type: none"> 議席の一部変更 	決定
選任	<ul style="list-style-type: none"> 議会常任委員会委員の選任 議会運営委員会委員の選任 議会広報編集委員会委員の選任 リニア対策特別委員会委員の選任 	選任
選挙	<ul style="list-style-type: none"> 東八代広域行政事務組合議会議員の選挙 東山梨行政事務組合議会議員の選挙 東山梨環境衛生組合議会議員の選挙 青木が原ごみ処理組合議会議員の選挙 峡東地域広域水道企業団議会議員の選挙 釈迦堂遺跡博物館組合議会議員の選挙 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の選挙 山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 	選挙

第4回臨時議会

11月22日

人事

教育委員会委員に

山田氏の再任を同意

山田 武人

一宮町中尾1346番地

昭和19年7月15日生

固定資産評価審査 委員会委員に 3氏を選任

曾根 英機

春日居町徳条71番地

昭和17年2月3日生

稲山 正

境川町寺尾3126番地

昭和10年2月1日生

土屋 康海

石和町東油川210番地

昭和12年10月27日生

監査委員に 上野氏の選任を同意

上野 稔

石和町四日市場2335番地2

昭和17年6月14日生

議員発議

・議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴う職員のみ末・勤勉手当の改定により、議員も同様の措置を講ずるため。

12月定例議会

人事

公平委員会委員に

宮澤氏の再任を同意

宮澤 黎夫

境川町寺尾3886番地1

昭和13年11月5日生

名所山恩賜県有財産保護 財産区管理委員会委員に 7氏の選任を同意

齊藤 智雄

境川町藤袋118番地

昭和19年12月11日生

沼田 悠勇

境川町藤袋832番地1

昭和21年12月15日生

相田 裕二

境川町藤袋2449番地

昭和22年5月14日生

深澤 史生

境川町藤袋4814番地1

昭和23年3月12日生

北野 富一

境川町藤袋4749番地

昭和25年9月4日生

中澤 重徳

境川町藤袋4669番地

昭和25年3月15日生

中村 繁身

境川町大窪933番地

昭和25年11月24日生

市民の声

12月
定例議会

一般質問

12月定例議会では9人の議員が一般質問に立ち、15項目について市の考えをたえました。
以下は質問と答弁を要約したものです。

中川秀哉議員8
大久保俊雄議員8
野澤今朝幸議員9
亀山和子議員10
渡辺正秀議員10
川村恵子議員11
志村直毅議員11
中村正彦議員12
新田治江議員13

問 姉妹・友好都市交流事業に
助成金交付を

答 先進事例を研究し検討する



中川秀哉議員
(公明党)

中川秀哉議員 笛吹市と提携、交流している国内外の姉妹・友好都市は。
姉妹都市である新潟県佐渡市などの先進自治体では要綱を設け、姉妹・友好都市との民間交流事業や宿泊施設の利用に対して、助成金を交付している。本市に

おける取り組みは。友好都市の千葉県館山市では、宿泊施設が企画した南総里見八犬伝にちなんだ産物を利用したメニューが好評で、メディアにも取り上げられた。本市は、平成23年1月に石和温泉湧出50周年の節目を迎える。近県からの日帰り観光客を宿泊に転じさせるため、温泉を利用した健康増進プログラムなど、魅力あるおもてなしプランの開発と紹介に取り組むべきだ。

池田聖仁経営政策部長
海外3市と国際交流事業を行っている。平成18年7月に中国の肥城市と友好交流に関する備忘録に署名、19年10月にドイツのバート・メルгентハイム市と友好交流約定書に署名、フランスのニユー・サンジヨルジュ市とも市民レベルの交流促進などを確認している。国内は千葉県館山市、新潟県胎内市と災害時の相互応援協定を結び、佐渡市、千葉県一宮町、富士河口湖町も含め、それぞれの実情に応じた交流を継続している。市の総合計画の「実り多き産業と人々の集うまちづくり」のなかで、友好都市交流事業を位置づけている。

友好都市との親睦関係を構築し、市民レベルまで波及するよう、さまざまな角度から民間交流を支援していく必要がある。今後の交流事業については、先進事例を研究し、交流先の意向も確認するなかで検討したい。
豊角英人産業観光部長

温泉の湧出50年を機に、もてなしの心を最大限に出す努力を関係分野で図っている。館山市とは30年の交流の歴史がある。災害時の応援協定だけでなく、誘客に結びつくような協定についても検討したい。

問 新年度予算編成の重点は

答 施策別枠配分方式を導入



大久保俊雄議員
(笛政クラブ)

大久保俊雄議員 市の予算は市民のニーズに十分応えているのか。新年度予算は地域経済の活性化、総合計画の実現につながる編成となっているのか。特筆すべきポイントと具体的方策は、予算編成過程を市民に公表し、透明性を図る考えは、職員のモチベーションを高め、

能力を最大限に発揮するための方策は。
特別会計、企業会計の独立採算制を高める取り組みは、荻野正直市長 本市は、限りある財源を効率的に活用するため、部局別枠配分方式による予算編成を行ってきたが、平成23年度は、行政評価を基本とした行政経営方針に基づき、施策や事務事業の優先度に応じた施策別枠配分方式を導入した。これにより、総合計画やマニフェストと予算の連動が図られる。石和温泉駅周辺

整備、バイオマスセンター建設、砂原橋架け替え、八代ふるさと公園整備、多機能アリーナ建設、子どもすこやか医療費助成の拡充等に重点配分を行った。

池田経営政策部長 公表

については前向きに検討したい。全職員が行政評価に関わり、予算編成を行っている。職員提案制度もある。18年10月実施以来44件の提案があり、このうちの7件が採用された。

鈴木幸弘財政課長 特別

会計および企業会計に一般会計から繰り出しを行っている。19年度に制定された財政健全化法に則り、実質公債費比率等、判断比率を公表している。

問 市民への情報提供・共有・発信は

大久保議員 大型建設計画についての市民への説明と進捗状況は。

事業仕分けによる交付金の廃止・縮減が及ぼす、市政への影響は。

境川ごみ中間処理施設の整備予定変更の説明は。

観光立市として、情報発信の具体策は。

市民の相談、苦情窓口の設置を。広報戦略室を検討しては。

答 説明責任を果たし情報の公開に努める

池田経営政策部長 砂原

橋架け替え事業は、9月に石和、10月に八代、11月に境川で地元説明会を実施。石和温泉駅周辺整備事業は22年1月下旬に地元説明会を3回実施、また、平成21年11月に立ち上げた、まちづくり検討委員会を現在までに3回開催。八代ふるさと公園整備事業は、10月8日に事業概要の地元説明会を実施。バイオマスセンター建設事業は、建設候補地の砂原区と隣接の増田区で説明会を開催した。多機能アリーナ建設事業は、11月と12月に計4回、建設予定地域で説明を行った。

砂原橋架け替え、芦川地区の林道開設、下水道関連の各事業へ影響が出ることを考えられるが、国の動向を注視し財源確保に努める。

詳細な遅延理由、工程短縮等の対応策、今後のスケジュールについて、地元の説明し理解を得た。今後も積極的な情報提供を行う。

市の観光物産連盟のホームページを作成中であり、民間情報等を盛り込んだ情報

問

多機能アリーナ建設は住民投票を

答 実施が必要な状況とは考えていない



野澤今朝幸議員 (市民派クラブ)

野澤今朝幸議員 多機能アリーナの建設計画は、民意からかけ離れており、市民の理解を得られていない。今後の見通しは。

長野県佐久市で文化会館建設をめぐる住民投票が実施された。学ぶ点が多い。類似の事例ではないだろうか。建設の賛否を問う住民投

報発信が行えると期待している。

市長への手紙、各部局への問い合わせに誠実に回答している。総合的窓口、広報戦略室についても研究したい。

やホームページにより情報発信を行い、今後もあらゆる機会を通じ、市民の皆さんに理解を得られるよう努める。また、市民の皆さんから随時ご意見をいただき、建設委員会で協議の上基本設計に反映していく。

佐久市の場合、前市長時代に議会と一致して建設を推進していたが、新市長と議会の意見が分かれる中で、住民投票が実施されたようだ。本市と佐久市と同じ状況だとは捉えていない。

議会と首長の判断が重要施策で対立した場合、住民投票が実施されるものと理解しており、実施の必要はないと考えている。

署名については真摯に受け止める。今後、基本設計により施設イメージの案が出来上がったら、市民ミーティング等も行い、ご理解いただけるよう努める。

荻野市長 合併特例債を活用した新市の基盤づくりとして、アリーナ建設の話がスタートした。多機能施設の建設検討委員会では、両論併記となり、執行部と議

市民の声

一般質問

会の議論に結論が委ねられた。前定例市議会に基本設計費を含む補正予算をお諮りした。

議会制民主主義のルールに基づき進めてきたと認識している。

問 住宅リフォーム助成制度の創設を

答 木造住宅の耐震化を優先



亀山和子議員
(日本共産党)

亀山和子議員 全国175の自治体が、住宅リフォームに対する助成を行っている。岩手県宮古市では約1割の世帯が助成制度を利用しており、岩手県の試算によれば

経済効果は助成金額の7倍とされている。本市においても、小さな助成で大きな経済効果を生み、地域経済の活性化につながる、住宅リフォーム助成制度の創設を求める。

佐藤貞雄建設部長 全国の住宅リフォーム助成制度は、地域の実情に応じ、耐震、バリアフリー、省エネ等の

各リフォームがあり、それぞれ減税、補助、融資の支援制度がある。現在、県内では耐震化を伴う助成制度以外、実施している市町村はない。経済効果は認識しているが、単なるリフォームに、行政がどう関わるべきかは検討を要する。本市では、まず既存の制度を活用し、木造住宅の耐震化に積極的に取り組む。

問 臨時職員の雇用改善を

亀山議員 夏季・冬季の期末手当の増額を。

1年以上の勤務者に、正規職員と同等の看護休暇を。学校給食調理員は、夏休み・冬休み期間は無給。仕事・所得の補償など対策を。職員採用にあたっては、

臨時職員の登用を優先できないか。

答 新年度から待遇改善の予定

梶原清総務部長 期末手当は、夏季10日分、冬季20日分支給しており、県内他市と比べても特に低い状況にはない。23年4月より、

職員の勤務時間短縮に伴い、臨時職員の勤務時間も短縮予定。短縮後も賃金日額を維持する予定であり、実質的な待遇改善になるものと考えている。

23年4月より、子の看護休暇、短期介護休暇、育児休暇、分娩休暇の規定を設け、臨時職員の待遇を改善する予定。

長期休暇中、ふだんできない調理場の大掛かりな清掃などが行われている。今後必要な場合は出勤していただき、対価として賃金を支払う。

地方公務員法により、臨時的任用は正式任用に際しいかなる優先権をも与えないと規定されており、保証は適切でないと考えている。

問 小中学校の猛暑対策を

答 冷房化は国の動向を注視



渡辺正秀議員
(日本共産党)

渡辺正秀議員 異常気象といふべきか、この夏は並みの暑さではなかった。小中学校の教室では、40を越える教室もあり、まともな授業にならないこともあったと聞く。

今夏の猛暑の影響調査は、来夏に向けた対策は。

仲澤和朗教育部長

甲府 地方気象台の観測データでは、35を越えた猛暑日が34日だった。教育委員会として熱中症対策に努めたが、7月から9月の間、保健室で休養した児童生徒は615人、医療機関の受診を勧めた人数は73人、その結果熱中症と診断された人数が3人。一方で、保健室で休養した

児童生徒が1人もいなかった学校も3校あった。

緑のカーテンの設置、ミストの散布による室温の抑制、冷房施設のある特別教室の有効活用に努める。市内の小中学校の約250の普通教室に、全て冷房施設を設置するには、相当の経費を必要とするため、国の対策動向を見ながら検討したい。

事業遅延に伴う

問 財政の影響は

渡辺議員 国からの補助金交付金の見直しが進んでいる。市の財政への影響が懸念される。

甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業における中間処理施設、砂原橋架け替えへの影響は。

財政が厳しい中、多機能アリーナ構想は再考すべきではないか。八千蔵・高家地域の事業

については、本市の単独で事業を行い、合併特例債が活用できる期間での完成を目指すべきではないか。

計画的な

財政経営に努める

池田経営政策部長

ごみ中間処理施設は、環境アセスメントの遅延により、事業完了が平成28年度に延びた人口、ごみ排出量減少による見直しで、規模縮小が見込まれる。合併特例債が活用できる26年度を超えるため2年分の合併特例債発行は困難である。この場合の財源は組合の起債で補填することとなる。砂原橋架け替えは、道整備交付金事業が廃止になった場合も、代わらるべき交付金事業等の動向を注視し、合併特例期限内の完成を目指し取り組む。

9月発表の健全化判断比率等の速報値では、本市の実質公債費比率は、県内13市の中で最も低い。大型施設の費用も計上している10年間の長期財政推計を毎年確認するなかで健全財政を維持し、多機能アリーナ建

設事業を推進していく。

ごみ中間処理施設の予定地変更に伴う、八千蔵・高家地域の事業については、一度は笛吹市・甲府市のご

問 住基カード普及の取り組みは

答 3月からコンビニ交付開始



川村恵子議員 (公明党)

川村恵子議員 住基カードの利便性向上を図り、普及を推進する自治体が増えている。住民票、印鑑登録証明書以外にも、税関係、戸籍等の証明書の交付、図書カード、商店街と連携したポイントカード、温泉巡りポイントサービス等、さまざまなサービスの提供がある。笛吹市は、今後、どのようなサービスを拡充していくのか。交付率向上の目標は、加藤寿一市民環境部長 住

み中間処理施設候補地となった経緯を重く受け止め、笛吹、甲府、山梨、甲州の関係4市による合意に基づき推進していく。

基カード取得促進のため、15分以内の即日交付を基本に勧誘、対応している。11月末現在の交付率は21%。23年3月から、コンビニで住民票と印鑑証明書の交付を開始し、当面セブンイレブンで実施する。図書カード機能の追加も検討中である。24年度中には交付率30%を目標に、効果が高い来庁者への声かけを中心に、各種の啓発に努める。

問 杖ホルダーの設置は

川村議員 銀行や病院などでバリアフリー化の一環として高齢者のための杖ホルダーの設置が進んでいる。杖だ

けでなく、傘にも対応しており好評だ。市役所や図書館の窓口、トイレなどに設置を望む。

答 新年度から順次取り組み

中川啓次保健福祉部長

年々高齢化が進み、本市の高齢化率も23%を超え、杖の利

問 保・幼・小・中・高の連携は

答 校種を越えた連携会議により推進



志村直毅議員 (笛政クラブ)

志村直毅議員 総合計画と学校教育ビジョンとの間に位置づけられる、教育基本法17条2項に基づく教育振興基本計画を策定する考えはあるか。保・幼・小・中・高の連携は、90年代から必要性が

用者も多く見受けられる。歩行補助や転倒防止のため使われる杖の種類は、T字杖、多点杖、ロフストランド杖などさまざま。新年度から順次、関係団体の意見や先進事例を参考に、高齢者や身体障がい者の利用が多い施設から検討したい。

指摘されてきた。市の教育ビジョンにも連携が掲げられているが、取り組みは具

「保幼小中高連携会議」に、地域住民という視点から保護者代表等が入ることも必要ではないか。

幼児教育と学校教育の円滑な接続を図るため、学校側で必要と考えることをりストアップするような一方的なものではない、保幼小の連携によるスタートカ

キョラムの実施を望む。

山田武人教育長 本市においては、総合計画に基づいた学校教育ビジョンが先行策定されている。学校だけでなく、さまざまな教育機関の事業をつなぐものとして、教育振興基本計画の策定も視野に入れ、検討したい。

本市では、教員相互の授業参観など、古くから小中が連携してきた。現在、育てようとする子ども像を共通理解し、保育園から高校までの関係者が一堂に会し課題を検討するための、幼小中高連携会議を進めている。平成21年度から、小中学校においては、きちんとした「あいさつ、聞き方言葉遣い」を身につけさせるため取り組んできたが、今年度は保育園用のポスターを作成し配付した。今後はそういうことも考えていく。

児童が義務教育の始まりにスムーズに適應するためのスタートカリキュラムや、園児が学校に慣れるためのアプローチカリキュラムに

取り組んでいる。

問 消防団の今後についての考えは

志村議員 合併から7年目に入り、行政機構や各種団体等のあり方が検討される必要に依りて見直しも進められている。本市消防団は団員1、773人の4分の3が会社員であり、自営業者は1割にも満たない。消防団活動を取り巻く環境も変容してきているが、現状は適正な配備状況か。

消防団組織等の見直しの考えはあるのか。その場合の基準はどう考えているか。団全体の規模、バランス、市街地指定、適正団員数等に十分配慮し、現行の分団構成を前提にしていくなら一律基準といったことは抑制的に検討するべきと考えるが、消防団の今後についての認識を伺う。

答 統合により
適正配備に努める

梶原総務部長 合併前の形態のまま移行したため、地域間に偏りがある。統合

を進め、市内配備の平準化・適正化を図っている。現在7分団、93部の構成だが、当面の目標として65部前後を目指している。

消防団は水害や火災だけでなく、日常的行事において

問 ジェネリック薬品の普及促進を

答 医薬品希望カードを全戸配布



中村正彦議員
(正鶴会)

中村正彦議員 市の国民健康保険を含め、全国の健保組合は医療費の増加で崩壊寸前の状況にあり、今後高齢者の増加や医療技術の進歩で高額医療が増加し、医療費を抑えるのが難しい状況だ。そこで、先発医薬品の特許が切れたあとに製造販売されるジェネリック医薬品(後発医薬品)で、医療費削減につなげる必要

でも行政区と関わりが深い。消防団や行政区と協議し、統合が進んだ部については車両や詰所の整備を優先的に配慮し、活動が充実できるように取り組みたい。

がある。国では平成24年までにシエアを30%まで普及したいというが、現状の普及状況と普及のための啓発にどのように取り組むのか。

加藤市民環境部長 ジェネリック医薬品は、新薬と比べると5割から7割程度の安価で提供されている。普及率は21年9月の数値で20・2%、欧米に比べまだ普及が進んでいない。市でも医療費適正化に向け本年度国民健康保険健全化計画を策定し、国保事業の健全化への取り組みを重点施策として推進している。国保だよりで医療費適正化のお知

らせと同時に、ジェネリック医薬品希望カードを挿入し、全戸配布している。今後PRに努める。

問 おごっそう家(芦川農産物直売所)の今後は

中村議員 3月27日に若彦トンネルが開通、同時に芦川農産物直売所がオープンした。オープン後8カ月あまりが経過したが、現在の客の状況と売り上げはどうか。冬季は土日の開業で平日は休みだが、今後の予定は。また、売り上げの多い品物ベスト3は。

答 地域活性化を図れる
運営を目指す

豊角産業観光部長 芦川農産物直売所は若彦トンネルの開通に合わせオープンしたが、指定管理者である芦川農産物直売所運営委員会の努力もあり、客の評判も良く順調に運営している。11月までの総客数は5万8千人、売り上げ金額は5、400万円となっている。当初は冬季の1、2月は休業予定だったが、指定管理

者より通年営業したいとの申し出があり、今後運営体制等を協議・検討し、通年営業する方向で進めている。売り上げの上位3品目は、月により変化があるが、1位がコンニャク、2位がほ

うれん草を主とした野菜類3番目にコロッケ、草もちなどの加工品の順となっている。今後は新商品開発にも取り組み、地域の活性化と愛される直売所運営を目指していきたい。

問 多機能アリーナ建設用地は

答 教育施設と連携する メリットは大きい



新田治江議員
(正正会)

新田治江議員 多機能アリーナ建設予定地は博物館に隣接し、人づくり・健康づくり・交流づくりの連携活用が期待されている。

建設用地に隣接するホテルの、実質的運用形態は。

成田区、下成田区、国術区、3区合同の候補地要望書の経緯について聞きたい。3区合同の要望書が提出されたのに、反対の声が多いの

はなぜか。

隣接するホテルは風俗施設だ。市の考えは。

池田経営政策部長 建設

予定地に隣接し、2つのホテルがある。1つは東京にある会社が経営し、もう1つは市内の会社が経営している。会社概要によると、2つのホテルとも時間による利用や、宿泊などができる施設となっている。

3区の要望は平成17年6月3日に、市長および市議会議長宛に、「ふれあい文化都市建設に向けた(仮称)文化ホール・新庁舎建設の実現について」という要望

書が提出された。文化ホールの要望内容は、市民の皆さんの多くが集うことができ、イベントや式典が開催できる施設の候補地を、3区内としていただきたいとのもので、その後、22年9月にいただいた要望書では、交通条件や利便性に恵まれた3区地域を、多目的施設の建設地として、あらためて3区民総意のもと要望する旨のものとなっている。

山田教育長 この場所を選定した理由に、県立博物館と総合教育センターの2つの教育施設があり、連携しながら県・市が一体となつて、教育・文化・スポーツの複合施設として活用するメリットは非常に大きい。環境面での配慮として、アリーナを建設する過程で、建物の設計・植栽なども考慮していく必要がある。

書が提出された。文化ホールの要望内容は、市民の皆さんの多くが集うことができ、イベントや式典が開催できる施設の候補地を、3区内としていただきたいとのもので、その後、22年9月にいただいた要望書では、交通条件や利便性に恵まれた3区地域を、多目的施設の建設地として、あらためて3区民総意のもと要望する旨のものとなっている。

総務常任委員会

12月9日、10日および14日の3日間委員会を開催。付託された条例制定1件、一部改正2件、一般会計補正予算2件、契約の変更の計6件を審査し、いずれも賛成全員で、原案のとおり可決すべきものと決した。

主な質疑答弁は次のとおり。
なお、請願1件を継続審査とした。

「総務部(支所)所管」

Q コンビニ収納の件数はどのくらいか。

A 昨年度42、114件
今年度10月までの状況見込みは、昨年度より約1万件多い。

Q 過誤納還付金の主な内容は。

A 過年度の税額修正や、過去の算定見直し等の中で、還付が発生する場合がある。

委員会レポート

Q 御坂支所の外壁防水工事は、もう必要なのか。

A 一般的に5〜6年で塗り替える。現在7年目であり、将来的にメンテナンスを適切にし、できるだけ小規模の改修におさめたい。

Q 業者決定は入札か。

A 地域活性化なので、地元業者の入札が随意契約で実施する予定。

(その他)

防災無線の契約変更案件については、現地視察を行い、担当者から法面工法等変更の説明を受けた。

「経営政策部所管」

Q 国勢調査の指導員・調査員の役割と人数、手当、割当はどのくらいか。

A 調査員は340人、指導員は50人ほど。調査員は各世帯へ調査票の配付・回収を行い、指導員は回収した調査票の内容確認を行っている。調査員報酬は調査



区割り・世帯割りを含め、平均70〜80件を受け持ち、約6万円になる。

「市民環境部所管」

Q 住民票等のコンビニ交付は、全てのコンビニで利用できるのか。

A 全国のセブンイレブン12,700店舗、県内は163店舗、市内は13店舗で利用可能。土日祭日も午前6時30分〜午後11時まで利用できる。手数料は通常窓口は300円、自動交付機で100円だが、コンビニ交付は200円。

教育厚生常任委員会

12月9日、10日、14日の3日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正・廃止2件、一般会計補正予算2件・特別会計補正予算4件、指定管理者の指定6件の計14件を審査し、賛成

全員11件、賛成多数3件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

なお、請願1件を賛成全員で、採択すべきものとした。

「市民環境部所管」

Q 指定管理協定書で、修繕費の市負担額の基準など、協定書内容で適切に運営されているのか。

A 修繕見積りが基準額を超え、管理者のリスクに属さないものは市へ報告し、市の判断を仰ぐことになっている。

Q 指定管理者の利益率はどのくらいか。

A 基準はなく、提示した指定管理料で運営できる委託先を選定している。

「教育委員会所管」

Q 学習指導要領整備に伴う追加補正の国庫補助は。

A 武道場整備などハード面はあるが、一般財源での対応。

Q 「飯田龍太を語る会」開催で、観光との部局横断的な検討・対応は。

A 俳句会の投句数も増えており、観光に繋がる検討をしたい。

Q 地域活性化交付金の、15事業個所の選定理由は。

A 大きく改修工事が必要な施設を重点的に選定したものである。

「保健福祉部所管」

Q 介護保険事業計画策定委託料の積算内容は。

A 全国統一実施調査で、調査対象者数・回収率を見込み依頼し、金額設定せず提示額を基準に積算。

Q 地域実情を汲んでくれるか疑問。実態とかけ離れたものも見受けられる。

A 職員・関係機関も含め、トータル的な集計・分析をしていく。

Q ふれあいの家、防水改修工事を行うとのことだが、すでに工事が行われている。防水工事とは別の部分か。

A 20年度耐震診断を行い、21年度の繰越事業で耐震補強工事を行っているもの。

建設経済常任委員会

12月9日、10日および14日の3日間委員会を開催。付託された条例制定1件、一部改正2件、一般会計補正予算2件、特別会計補正予算2件、企業会計補正予算2件、市道廃止・認定・不動産の取得、指定管理者の指定6件の、計18件を審

査し、いずれも賛成全員で、原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

「産業観光部所管」

Q 県営中山間地域総合整備事業の負担金補助及び交付金の増額補正内容は。

A 八代町奈良原地区の農道改良工事、竹居地区の水路改修工事によるもの。

Q 観光イベント事業の減額理由は。

A 中国研修生受け入れ事業で、研修生の数が確定したことによる補助金の減額。

「建設部所管」

Q 八代定住促進住宅の入居者と地区とのかかわりは。駐車場が少なすぎるのでは。

A かかわりが深まるよう自治会と話し合いを持つよう考える。他の住宅も確認していきたい。駐車場は今後検討する。

Q スマートインターチェンジ整備効果検討委託事業の進捗状況は。

A 3回の勉強会が済み、今年度中に終了し、地元地区と協議に入る。

Q 防犯カメラ設置場所は。

A 石和温泉駅南口周辺、春日居町駅南北を考えている。笛吹警察署等と検討を重ね、治安など考慮し選定したい。

Q 地域活性化交付金事業のため、地元業者を活用すべきでは。

A 前向きに検討する。「公営企業部所管」

Q 水道事業会計の過年度損益修正額は。

A 廃業した旅館を企業が取得したが、過年度回収不能額として処理。

Q 下水道事業の加入率・受益者負担金等は。

A 水洗化率79・7%、普及率58・2%。受益者負担金は平成22年度に市内統一で平米当たり330円とした。今後も加入促進に努める。



議会だよりアンケート集計結果

アンケート回答数 267通

問1-1 お住まいの町は。

	男	女	性別不明	計	割合
石和町	45	32	6	83	31.1%
御坂町	23	28	1	52	19.5%
一宮町	14	14	3	31	11.6%
八代町	18	12	5	35	13.1%
境川町	9	3	0	12	4.5%
春日居町	13	19	1	33	12.4%
芦川町	8	1	1	10	3.7%
未回答	4	6	1	11	4.1%
小計	134	115	18	267	100.0%

問1-2 年齢は。

	男	女	性別不明	計	割合
10代~20代	3	4	0	7	2.6%
30代	4	9	1	14	5.2%
40代	7	12	0	19	7.1%
50代	13	13	3	29	10.9%
60代	35	35	3	73	27.3%
70代	47	19	7	73	27.3%
80代以上	20	14	1	35	13.1%
未回答	5	9	3	17	6.4%
小計	134	115	18	267	100.0%

問2 議会に関心がありますか。

	男	女	性別不明	計	割合
1.ある	96	63	13	172	64.4%
2.多少ある	27	34	2	63	23.6%
3.あまりない	7	11	2	20	7.5%
4.ない	4	7	0	11	4.1%
未回答	0	0	1	1	0.4%
小計	134	115	18	267	100.0%

問3 議会だよりを読んでいますか。

	男	女	性別不明	計	割合
1.毎回読む	106	69	11	186	69.7%
2.ときどき読む	17	32	5	54	20.2%
3.あまり読まない	8	9	1	18	6.7%
4.読まない	3	5	0	8	3.0%
未回答	0	0	1	1	0.4%
小計	134	115	18	267	100.0%

問4 興味がある記事はなんですか。(複数回答)

	男	女	性別不明	計	割合
1.議会で決まったこと	71	64	5	140	32.9%
2.代表・一般質問	98	73	12	183	43.0%
3.委員会レポート	16	22	2	40	9.4%
4.市民リレートーク	17	22	1	40	9.4%
5.その他	4	5	0	9	2.1%
未回答	4	7	3	14	3.3%
小計	210	193	23	426	100.0%

割合は端数処理の関係で、合計が100%にならない場合があります。

その他の主なもの

市長行政報告、編集コラム、予算配分、自分に関わること、子育てなど、高齢者・障がい者問題など福祉関係、保健・清掃・ごみ関係

問5 字の大きさや配置等、読みやすさはいかがですか。

	男	女	性別不明	計	割合
1.読みやすい	60	41	8	109	40.8%
2.まあまあ読みやすい	62	52	6	120	44.9%
3.あまり読みやすくない	3	10	1	14	5.2%
4.読みにくい	4	6	1	11	4.1%
未回答	5	6	2	13	4.9%
小計	134	115	18	267	100.0%

読みにくい理由の主なもの

字が小さい
字が詰まりすぎている
文が長い
活字ばかり
文章が難しい
横書きの方が見やすい

問6 議会に関する情報は何かから得ていますか。(複数回答)

	男	女	性別不明	計	割合
1.市のホームページ	40	22	4	66	23.0%
2.笛吹きらめきテレビの放送	27	22	6	55	19.2%
3.議員から	21	17	2	40	13.9%
4.その他	31	31	1	63	22.0%
未回答	26	30	7	63	22.0%
小計	145	122	20	287	100.0%

その他の主なもの

新聞・テレビ
無尽会・友達・知り合い
広報誌から
自分の足で

議会だよりに対する主な意見・要望など

議会傍聴者の声など、市民の声をもっと取り入れてもらいたい。

リレートークの短文なものをもっとふやして、声の欄を多く。

活動の様子の写真等をもっとあっても良いのでは。

市民の要望等にもっとページを。

市予算等の説明をもう少し細かく書いてもらいたい。

市民の声を各議員がどのように行政に投げかけ、検討しているのか知る機会はとても重要。今後も議会だよりは必要です。

とても細かく現状をよく把握し、伝えていると思います。

議会の様子がわかって、毎回楽しみにしています。カラーのなかの字は読みにくい。議会提出案件など。質問・答弁内容はもう少し簡略に。

傍聴の日程等わかりやすく周知してほしい。紙質は普通の再生紙で良いのでは。経費節減にもなると思っています。

議会だよりはほとんど読まない。関心があまりないので、興味を持ったところで何がわるのでしょうか。

ご協力ありがとうございました。



多機能アリーナで 観光・市の発展振興に



石和町・会社役員
清水 清一

私がふる里を離れて石和の地に暮らし始めて40年が経ち、旅館を営む両親を手伝いながら、今日の笛吹市の現状と観光とは何かと思いを巡らせている。

観光地としての笛吹市を見てみれば、歴史的・文化的な資産はあるものの、自然景観は乏しいと言える。その中で地域の特長を伸ばし、いかに集客につなげるかは当面の課題であろう。

外国旅行者を自国に誘致し、外貨を稼いでいるが、その一部の旅行者の目的は大都市でのショッピングであり、地方都市に落とす金額は微々たるものである。

そこで、今話題の多機能アリーナの建設は長年の念願であり、県内はもとより全国からのイベントやスポーツなどの集客に大きな効果があり、観光や市の発展振興につながるであろう。

さらに私なりの飛躍的な考えではあるが、建設予定の廃棄物最終処分場の余熱を再利用する、県下初の国際大会も開催可能な屋内プールである。市民の生涯スポーツ活動の拠点となり、健康づくりのための健康増進施設になるであろう。

五感で感じる 笛吹の財産を生かしたい



御坂町・自営業
水上 兼一

合併して6年が経った笛吹市。自然やのどかさが残る笛吹市に訪れる方々が、年々増えている今日のご様子です。また、笛吹市御坂町出身のレミオロメンの活躍で、全国各地から笛吹市を訪れる方々が増えたといつても過言ではないと思います。

本市の美しい景観を、多くの方々を知っていただくこうと、私は市で行われている風景づくり懇談会に出席させていただき、笛吹市の景観について勉強させていただいております。

各地区から出席されている方々の話を聞く中で、市内にはとても素晴らしい自然や歴史、果樹や農産物、くらしや施設の風景がたくさんあることに気づかされました。美しい景観は豊かな文化や活力を育み、生活する人々や訪れる人々の心を豊かにし元気にしてくれそうです。

目に見える色や形だけではなく、その地域の歴史・文化・風土・生活等から生じる雰囲気や、人間の五感を通して感じることでできるところが笛吹市のいい所です。この自然の財産をさらに引き出し、観光や地域の活性化に生かしていく必要があると思えます。

交通の便もよく、県内外から比較的容易にアプローチできる笛吹市に、より多くの方々が立ち寄っていただけるよう、市民が一丸となって笛吹市を全国にアピールしていきます。



新年あけましておめでとござ
います。

年の始めは、日ごろとは違った躍
動を感じます。

今年も新年の拜賀式に出席、日の
出とともに万歳、いろいろな思いを
込めた万歳に聞こえてきた。

「今年こそは良い年になってもらい
たい」そんな願いが込められた万歳
だったと思います。

政権交代して1年半後、国民が期
待した政治は混迷し、行き先が分か
らない。率直な意見だと思ふ。笛吹
市も合併して7年目、新市の建設計
画に基づき努力しています。市民の
声を聞き、山積している課題に、全
力で取り組まなければならないと思
います。

この地域がどの方向に向かって何
を成し遂げたいのか？もう一歩踏み
出すと、他の地域からどのように見
られたいか？ということ地域全体
で、共通認識を持つことが大切です。
今年も厳しい経済の中、一層の飛
躍を目指し、挑戦していきたいと思
っています。

(寶 修)

SHOTOYO INTERFACE



笛吹市議会だより No.25

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917
TEL.055-265-2112(直通)FAX.055-265-1101
URL:http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/

議会を傍聴
しませんか

3月定例会議は2月24日から3月17日まで八代議場
で行われる予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。

発行者：笛吹市議会議長 小林 始 / 編集：笛吹市議会広報編集委員会
委員長：寶 修 副委員長：志村 直毅
委員：川村 恵子 中村 正彦 野澤今朝幸 北嶋 恒男